

第3回 西千葉「あみっぴい」ー豊かな「オフライン」を補完する「オンライン」 (月刊『広報』連載コラム 「人をつなぐ」地域SNS ～各地の地域SNS活用術)

glocom_tomohisa_old_author 2008年3月26日 未分類

※このコンテンツは、(財)日本広報協会が発行している月刊『広報』に2008年1月号より地域SNS研究会の庄司昌彦が連載している記事を、日本広報協会のご好意により許可をいただき地域SNS研究会のサイトでも公開するものです。

地域通貨「ピーナッツ」が育てた土壌

地域SNSとひとくちにいても、運営主体や目的、運営方針などは事例によって異なり、実に多様である。対象とする地域も、県や郡レベルの広いものから町内会や商店街のような狭いものまで、さまざまである。そして、どのような規模においても優れた事例がある。今回は、「町内会や商店街のような狭い地域」を対象とする地域SNSの代表例として、西千葉の地域SNS「あみっぴい (http://amippy.jp/)」を紹介する。

図1: 西千葉コミュニケーションサイト「あみっぴい」画面



最近の投稿

「恋するフォーチュンクッキー」ご当地バージョンの意義を考える

東京大学でオープンガバメントに関するシンポジウムが開催

松江市でオープンデータ・アイデアソンが開催

筑後地域SNS「わいわいちっこ」のモニターアンケートコミュニティが活用される理由

SNS利用人口が全世界で16億人に到達。しかし米国では10代のFacebook離れ疑惑も。

アーカイブ

月を選択

カテゴリー

カテゴリーを選択

FB「いいね！」数ランキング

自治体Facebookページ事例集を公開 | 地域SNS研究会 国際大学GLOCOM

いいね! 240

「第11回地域SNS全国フォーラムin 熊谷」開催が近づく | 地域SNS研究会 国際大学GLOCOM

いいね! 150



目次

■ <特別対談>山形県と山形大学の地域連携

● <特別対談>山形県と山形大学の地域連携

齋藤 弘 山形県知事

結城 章夫 国立大学法人 山形大学長

県全域を生かしたキャンパス環境の中で

将来を担う世代のための人材を育成していく

(司会:萩原誠・広報コンサルタント)

■ 広報 見・聞・録

● インターネットを活用したマーケティング

ネットをツールとしてではなく新しい現実と捉えて 味方を増やしていく

新井 範子 専修大学 経営学部 教授

● 「住民参加の地域医療」を目指して～NPO法人地域医療を育てる会

対話から始める地域医療 医師と住民(患者)が共に育ち合う場に

■ 日本広報協会 横浜セミナー2008

■ <短期連載>

● 市政はコミュニケーション——長崎市の挑戦(3)最終回

“思い”を込めた一対一のコミュニケーションで 今何を伝えるべきかを考える

インタビュー・構成:小川内 清孝(フリーライター)/『広報』編集部

■ 連載/その他

● 「防災」と「情報」～災害の影響を少しでも軽減するためにはどうすればよいのか (12)最終回

普段からできることを考える——広報が他の部署と連携して災害時に行政組織が
どのような働きをするのか知っておく

中川和之 時事通信社 編集委員

● 「人をつなぐ」地域SNS～各地の地域SNS活用術(3)

西千葉「あみっぴい」——

豊かな「オフライン」活動を補完するための「オンライン」

庄司昌彦 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 助教/研究員

● コミュニケーション・テクニック (12)最終回